

「あの日、あの時」

（金城一守の見た震災の神戸）

「あの日、あの時」
平成7年1月17日午前5時46分、兵庫県淡路島北東沖約3キロを震源地とする大地震が発生しました。神戸で震度7の激震を記録し、6千人を超える死者を出したこの大地震は、発生から3日目に「兵庫県南部地震」から「阪神・淡路大震災」と名称を変え、歴史的な大災害として人々の心に強く残るようになります。ここに、住宅建築を業とする私たちゼロ・コーポレーションにとって、住宅の全半壊約25万棟という事実が鮮然と浮かぶ数字でした。

心に刻まれた衝撃の光景

淡路島で生まれ、神戸で育った、ゼロ・コーポレーション社長・金城一守は、震災発生から2週間後、やっと現地入りを果たします。須磨で被災した両親は幸いにも無事であるとの連絡を受けていましたが、それでも、その時なお復興のめどが立たない神戸でどのように過ごしているのか。西宮までやっと通じた満員のJリに乗り、そこから国道2号線を徒歩で西に進みながら、その道すがら、将棋倒しに倒れた家々の光景を目の当たりにした時に感じた衝撃と喪失感は、今でも深く心に刻まれています。

問われる今後の取り組み

阪神大震災から13年。「復興」を最大の目標としてきた動きから、流れはそろそろカタチを変えつつあります。教訓をどう活かす、どのように準備を整えるのか、個人レベルでの意識改革はもちろん、各自治体の体制づくり、各企業の誠意ある取り組みが問われています。当時の被害状況を目の当たりにしたゼロ社長・金城一守の目を通して、「あの日、あの時」をもう一度しっかりと見つめ直し、大地震による大きな被害を避けられないとされる京都、これからの私たちに必要なことは何か、一緒に考えてみませんか？



写真:43号線周辺の様子(1995.02.02 金城一守 撮影)

阪神・淡路大震災 震災写真展

期間:2008年1月12日(土)~27日(日)

場所:住宅展示場「京都ものがたり」ショールーム1階

西日本最大級 ゼロの住宅展示場 京都ものがたり

- 注文建築・建売住宅の購入・リフォーム等をお考えの方は、是非、京都ものがたり住宅展示場にお越し下さい。
- すでにゼロでご購入頂いたお客様も大歓迎です。

【年中無休】営業時間 10:00~19:00

毎週土曜日はナイター営業! 「22:00まで」



京都南IC第2出口降りてスグ!

自動車をご利用の場合

- 京都方面よりアクセス
国道1号線 城南宮交差点を左折すぐ
- 大阪・滋賀方面よりアクセス
名神高速 京都南IC第2出口降りてすぐ

右記ナンバーを記入下さい ☎ 7404746*84

ゼロホーム TEL:0120-021-046
ゼロにこう ゼロホーム